



たなつる工房

代表者：菅波 博光

住 所：高萩市安良川189-3
T E L：090-3231-5291
http://tanatsuru.com
Instagram：tanatsuru.ibaraki

木を生まれ変わらせる ～爺杉に込めた思い～

今から約25年前、布団を作る機材を木工機材に入れ換え、木工芸品作りを始めた「たなつる工房」の菅波博光さん。木の素材を生かしたデザインを考え、使う人に喜んでもらえるよう制作。木工軸のボールペンや器、小物入れ、アクセサリなどは、店舗の「つるや」(安良川672)で購入できます。

工房では、木工教室も行っており、約10種類の木から素材とデザインが選べるボールペンづくりなど、木の優しさに触れながらオリジナル作品が作れます。また、木工旋盤を学びたい人のための指導もしています。

爺杉の加工にあたっては「長い歴史を乗り越えた爺杉を新たに生まれ変わらせ、生かしていきたい」という菅波さんの思いが込められています。

爺杉のお守り 千年守



総鎮守 八幡宮

住 所：高萩市安良川1173
T E L：22-3611
Instagram：8manguu.takahagi

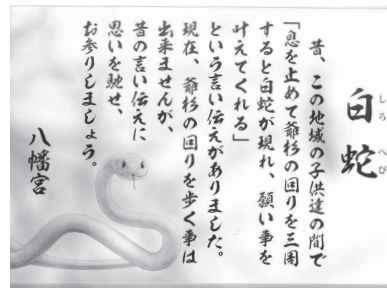
本体や万年筆の軸などを制作しています。新作の千年守(各種限定100個)は八幡宮でお買い求めいただけます。長い歴史を乗り越えた年輪は固く、一つとして同じものはありません。

人が集う神社へ

インスタグラムの情報発信や東北の神社10か所の「神玉」を集めて回る「神玉巡拝」も人気を集めています。「季節の草花を楽しみながら境内を周遊してほしい」と誠人さんは人が集う神社を目指しています。



樹齢約800年の婆杉跡。昭和38年伊勢湾台風で倒木。



爺杉にまつわる伝説。
この伝説の語り聞く際は右QRにアクセス。



樹齢約千年、高さ約35m・胴回り約10m。国の天然記念物である爺杉。



境内の杉 拝殿の木材として生きる

フクロウが息づく境内

鎮座千年を記念して建立された大鳥居をくぐると「高萩の観光10選」になっている「安良川八幡宮の森」が広がります。「境内にはフクロウがいて、夜になると鳴き声が聞こえます」と誠人さん。

平成15年から行われた大規模な改築などにもない、境内の杉の木も伐採され光が差し込む森になりました。

平成18年に完成した拝殿には、伐採された杉の木が材料に。新たな形に生まれ変わり、生き続けています。

また、本殿には友好都市である飯能市のヒノキが使用されています。

国の天然記念物 爺杉

本殿の横には、推定樹齢が千年となる御神木の爺杉が立っています。爺杉には「白蛇」の伝説があり、地域の子どもたちの間で言い伝えられてきました。市公式YouTubeで「八幡さまの爺杉」の語りを聞くことができます。

現在の爺杉は、落雷などの影響もあり幹が空洞化。ロープで支えられている状態です。樹木医によると「やはり、普通の杉ではない。色も香りも他にはない。特別な杉」と言われています。

そして、少しでも負担を減らすため枝葉も切り落とされます。これら御神木の一部を、新たな形に生まれ変わらせるのは「たなつる工房」の菅波さん。爺杉地蔵の